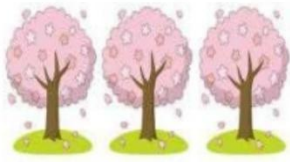


高取小だより

令和8年1月7日



三本桜

第36号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
1月の目標：病気に負けない強い体をつくろう

新しい年を迎えて

新しい年が明けました。年末から暖かい日が続きましたが、元旦もとてもよい天気で、穏やかな年明けを迎えて、各地で初日の出を拝むことができたようです。皆様とともに新年を迎えられることを大変うれしく思います。今年もよろしくお願いします。

2026年は「午年（うまどし）」、さらに60年に一度の「丙午（ひのえうま）」の年です。これは十干の「丙（ひのえ）」と十二支の「午（うま）」が組み合わさったもので、「火の陽気さ」と「午の勢い」が

重なる、非常にエネルギッシュな年とされています。まさに、情熱が燃え上がるような一年。新しい挑戦や、これまで温めてきた計画を実行に移すにはぴったりのタイミングです。

ただし、勢いが強すぎるとコントロールを失いやすいという側面も。燃え尽き症候群や衝突を避けるためにも、自分のペースを大切にしながら進むことが大切です。

午年は「勝ち馬に乗る」、「馬車馬のように働く」といった言葉にも表れるように、努力と集中力が実を結びやすい年です。高取っ子がそれぞれの思いを胸に力強く一步を踏み出したことをうれしく思います。また、自分の情熱を信じて、前向きに進んでいってくれることを願っています。



【五反田グランドより 2026 元旦】

「まだ」と「もう」

これからの3か月間は「1月に行く、2月は逃げる、3月は去る」と学校ではよく言われています。残り約50日余りの登校で子どもたちは、一つ上の新しい学年、中学校へ進みます。このことについて私は学級担任時代から、1月になるといつも次のようなことを子どもたちに伝えてきました。

今の時期は、「まだ」と「もう」の2つの考え方をもちて過ごすことが大切です。一つは、まだ50日もあるのだから、今までできなかったことにもう一度チャレンジしてみようと考えます。そしてもう一つは、もう50日しかないのだから、1日も無駄にせず今まで積み重ねてきたことを、最後までやり遂げようと考えます。どちらも「我慢」と「努力」が必要なことは変わらないのですが、この「まだ」と「もう」の2つの考え方は、節目の時、締めくくりの時期には

（裏面へ）

特に重要です。3月末の卒業式、修了式まで、みんなで励まし合ってがんばり、そして誰もが胸を張って新年度を歩み始めてほしいと思います。一日一日を大切に過ごしましょう。

まだまだ感染症予防のため、思うように教育活動を進められない部分もありますが、どのようにすれば実施、実践できるかを考えながら、できることを地道に実行していきます。

誰もが気持ちよく笑顔で過ごせる高取小、いじめがなく穏やかな空気の流れる高取小、子どもたち全員が安心して過ごせる高取小の実現を目指します。今後とも高取小学校の発展を見守り、励ましていただけたら幸いです。

上手にやり過ごす

立川談志の直弟子の立川談四樓が書いた本「ほめる力」には、「ほめる」というよりは、なるほど、そうか」という部分が多くあります。例えば、

「謝るときは頭を下げろ。下げているうちに、小言は上を通り過ぎる」

どうです？ 小言ってというのは小さなことですからね。

それを大言（おおごと）にするな、ってことなんですよ。

小言の内容は聞かなくてもいいんですよ。

頭さえ下げてれば。相手は、怒りという生理現象の解消をしつつ、こちらの謝り方を見てるものなんです。

職場での人間関係や評価についての実例を交えながら、人間関係の基本作法や相手を味方にする話し方等を伝授しています。

上手にやり過ごすことは、状況を上手に乗り切るための重要なスキルです。日常生活では、小さなトラブルや感情的な状況を冷静に乗り越えるために役立ちます。また、心理的な安定やストレスの軽減にも寄与します。やり過ごすことは、時には賢明な判断であり、重要な問題を放置することのリスクを回避するための手段でもあります。2026年、是非身に付けたいと思います。



感染症対策をお願いします

季節性インフルエンザ等の感染症にかからないようにするために私たちができることは、感染症ごとに異なるわけではありません。手洗いや手指消毒、十分な睡眠など基本的な感染予防を行うことで感染症にかかるリスクを軽減することができます。また、寒さが厳しい季節ですが、部屋の換気がとても大切です。学校では感染を拡げないために、一人一人が感染対策を意識して生活するようにしていきますので、家庭においても規則正しい生活、馬連スノトレた食生活等健康指導をお願いします。

